



世代を超え自然と暮らすところのまち

広報

わたらい

Public Information of Watarai

11

November, 2009 Vol.532

Contents

- ◆ 高額医療・高額介護合算制度
- ◆ 給与所得者の町県民税特別徴収
- ◆ 地域教育協議会の結果報告
- ◆ 育児・介護休業法の改正
- ◆ 文化人権講演会開催のお知らせ

長寿医療制度(後期高齢者医療制度)

国民健康保険加入者の皆さんへ

高額医療・高額介護合算制度のお知らせ

▷問合先 役場税務住民課 (☎62-2412)
役場福祉保健課 (☎62-2413)

高額医療・高額介護合算制度とは？

この制度は、『医療』と『介護』の両方のサービスを利用している世帯の負担を軽減するためのものです。

「お医者さんにかかったときの自己負担額」と「介護保険のサービスを利用したときの利用者負担額」の1年分の自己負担額を合算した金額が、この制度の自己負担限度額を超えると、限度額を超えた分が高額介護合算療養費として支給されます。

医療保険の自己負担額
(「月額」で限度額が設けられています。)

介護保険の自己負担額
(「月額」で限度額が設けられています。)

※同じ世帯で加入している医療保険ごとにそれぞれ計算。
※医療保険および介護保険の「月額」自己負担限度額を超えて支給された金額は除く。
※食費や居住費、差額ベッド代は合算の対象外。



高額医療・高額介護合算制度
それぞれを合算し、年額で限度額を設け、限度額を超えた分が支払われます。

※限度額を超えた分が500円未満の場合は支給されません。

●自己負担限度額と自己負担額の算定期間

自己負担限度額は、年齢や世帯の所得に応じて決まります。また通常、毎年8月1日から翌年7月31日までの医療保険と介護保険の自己負担額をもとに支給額を算定します。

所得区分	自己負担限度額		
	国民健康保険または被用者保険と70歳未満の方がいる世帯	国民健康保険または被用者保険と70～74歳の方がいる世帯	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)
現役並み所得者(上位所得者)	126万円【168万円】	67万円【89万円】	67万円【89万円】
一般	67万円【89万円】	56万円【75万円】	56万円【75万円】
低所得者(住民税非課税世帯)	34万円【45万円】	I	31万円【41万円】
		II	19万円【25万円】

※平成21年度は、経過措置として、平成20年4月1日から平成21年7月31日までの16カ月の自己負担額をもとに算定するため、自己負担限度額は【 】内の金額となります。ただし、経過措置期間の自己負担限度額を超える額より、平成20年8月1日から平成21年7月31日の自己負担限度額を超える額が大きい場合は、大きい額を支給します。

●申請について

支給の対象となる方には、医療保険者から申請のお知らせをします。ただし、次の場合、以前の履歴の把握ができないため、案内ができない場合があります。

※被用者保険の方は、各事業所または医療保険者へお問い合わせください。

- ①平成20年4月以降に転入または転出をした方
- ②平成20年4月以降に他の医療保険から国民健康保険または長寿医療制度に移った方
- ③長寿医療制度に加入している方で、町外の介護保険に加入している方(介護保険住所地特例者)

事業主(給与支払者)の皆さんへ

給与所得者の町県民税は特別徴収で納税を

▷問合先 役場税務住民課(☎62-2414)



給与所得者の町県民税は、法令により事業者が給与から特別徴収(天引き)して、給与所得者に替わって町に納税することになっています。

所得税は源泉徴収しているけど、町県民税は特別徴収していないということはありませんか。原則として、パート・アルバイトを含むすべての従業員から特別徴収する必要があります。

税額の計算は町で行いますので、所得税のように税額の計算や年末調整をする手間はかかりません。

従業員の皆さんのメリット

○納税の手間が省けます。

○普通徴収が原則4回払いであるのに対し、特別徴収は12回払いとなるので、1回当たりの負担が軽くなります。

三重県と県内全市町では、市町県民税の特別徴収の徹底に取り組んでいます。すべての従業員から特別徴収を行っていない会社などは、特別徴収への切り替えをお願いします。

度会町地域教育協議会を開催

子どもたちの現状と課題

▽問合先 度会町地域教育協議会

担当/度会小学校(☎62-0004)

去る8月3日、町教育委員会・小中学校・保育所の職員や保護者代表が集まり、子どもたちの現状や課題について語り合い、結果を取りまとめましたのでその一部を紹介します。

子どもたちのようすは…

○度会小学校

素直で穏やかな子が多いのですが、積極性にやや欠けるところがあります。統合2年目を迎え、子どもたちも環境に慣れてきました。どの校区だったか分からないほど仲良くなり、どんどんたくましくなっています。小さな学校から大きな学校に通うことになった子どもたちや保護者の不安も和らいできたように感じられます。

○度会中学校

素直で従順な子が多いです。1年生は統合後1年間、一緒に学校生活を送っているのでも、休む子もなく部活動もよ

くやっています。学校から離れた所でのようすをお知らせいただきたいです。

○長原保育所(保育所代表)

祖父母と生活をしている子が多く、祖父母がボランティアで保育所に関わってくれていることが多いです。小さな保育所から大きな小学校に行くことになり不安でしたが、小学校のようすを聞いて安心していきます。

**地域との関わりが少なくなり
地域で子どもを育てにくく
なったのでは…**

地域でお互いを知り合う機会や交流が活発になると、大人も子どももお互いのことを知ることができます。そういう機会を増やす必要があるのでは。地区行事に子どもを参加させて欲しいものです。しかし、その行事自体が、祖父母世代が中心になり、父母世代が参加しない傾向が見られます。町社会福祉協議会が行

う「三世代交流」のような企画で、地域とのつながりを持つ必要を感じています。

**自ら考えて動くことが
苦手な子が多い…**

生活の中でのさまざまな経験が不足しているのでは。親の指示が多く、自分で考える必要がないことが原因の一つ。また、危ないことをさせないようになっているのも原因では。自分の子だけでなく、他の子を預かっている時にも、責任問題を気にして「危ない」になってしまいがち。子どもも困ることがないので考える必要がない。それで自ら考えなくなっていると感じます。生活の中での困難が、子どもを主体的に動かすのではないのでしょうか。子どもが自分でできそうなことは、とにかくやらせてみましょう。始めから上手いかないのは当たり前、失敗したらヒントを出したり教えたりすればよい。そこには確かな学びが生まれるのではないのでしょうか…。

ご意見・ご感想などがあれば、町教育委員会や小中学校、各保育所までお寄せください。

育児・介護休業法が改正されました

▶ 問合せ先
三重労働局雇用均等室
(☎059-226-2318)

少子化対策の観点から、男女とも子育てなどをしながら働き続けることができる雇用環境を整備するために、次のとおり育児・介護休業法が改正されました。

1. 子育て期間中の働き方の見直し

- ① 3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度（1日6時間）を設けることを事業主の義務とし、労働者からの請求があったときの所定外労働の免除を制度化
- ② 子の看護休暇制度について、小学校就学前の子が1人であれば年5回（現行どおり）、2人以上であれば年10日に拡充

2. 父親も子育てができる働き方の実現

- 父母がともに育児休業を取得する場合、1歳2か月までの間に、1年間育児休業を取得可能とする（パパ・ママ育休プラス）
 - 妻の出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合、特例として、育児休業の再度の取得を認める
 - 労使協定により、専業主婦の夫などを育児休業の対象外にできるという法律の規定を廃止し、すべての父親が必要に応じ育児休業を取得できるようにする
- ※これらに伴い、育児休業給付も改正

3. 仕事と介護の両立支援

- 要介護状態にある家族の通院の付き添いなどに対応するため、介護のための短期の休暇として、要介護状態の対象家族が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日休むことができる制度を創設

4. 実効性の確保

- 育児休業の取得などに伴う苦情処理・紛争解決の援助および調停の仕組みを創設
- 勧告に従わない場合の公表制度および報告を求めた場合に報告せず、または虚偽の報告をした者に対する過料の創設

BOOK 図書室だより

お薦めの絵本

『おじいちゃんのごくらくごくらく』

西本 鶏介／作
長谷川義史／絵



おじいちゃんが僕に残してくれた幸せの合言葉「ごくらくごくらく」。この言葉がある限り、いつまでもおじいちゃんと過ごした幸せな日々を思い出すことができます。この言葉を通して、ふたりのあたたかい関係を感じてみてください。

▶ 今月の貸出日 11月14日（土）、27日（土）
午後1時～5時

▶ 開館時間 午前8時30分～午後5時

▶ 休館日 日曜・祝日

▶ 問合せ先 町地域交流センター（☎63-0070）

度会町文化人権講演会を開催

知的障がいのある長女を明るく育て、子育て後、タレントとして活躍する辻イト子さんをお迎えして講演会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。



▶ 開催日時 11月13日（金）
午後7時～8時30分

▶ 開催場所 町民体育館

▶ 内容 演題「40代半ばからの
第二の青春は煙たいの芸能界」

※詳しくは、『広報わたらい』11月号と同時配布のチラシをご覧ください。

▶ 問合せ先 町教育委員会事務局（☎62-2422）

南伊勢高校 度会校舎通信

Minamiise High School Communication vol. 54

PTA文化活動



10月4日、阿児町の谷川原隆志先生を講師に招き、PTA文化活動『サンドブラスト教室』が行われ、保護者・生徒・職員29人が、にぎやかな雰囲気の中、芸術の秋を満喫しました。先生からカットイングの方法を教わり、好みの図案をガラスコップなどに貼ってカットしました。先生お手製のコンプレッサーで研磨剤を吹き付けた後、カットイングシートをはがして完成させました。この日の作品は、文化祭の「PTA作品展」で展示する予定です。

サンドブラストは初めて体験しましたが、シールを貼ったりカットしたりという簡単な作業でした。研磨剤を吹きつけるのも面白かったです。オリジナルの自分のグラスができて嬉しかったです。
(3年 山本 夏綺)

バスケット部選抜大会地区予選出場

9月12日、三重県高等学校選抜バスケットボール大会南勢地区予選が行われました。1回戦は同校対決となる南勢校舎、2回戦は宇治山田高校との対戦でした。1年生から3年生までチーム全員が力を合わせ、苦しい練習を乗り越えた結果の公式戦出場であり、この場で戦えたことが誇りになりました。
(バスケットボール部顧問 中北 哲司)

今年4月から、公式戦出場に向けて本格的に練習を開始しました。練習は想像以上に厳しく、特に夏休みの練習は過酷で、ほとんど休みもなく、蒸し風呂のような体育館で長時間も汗だくになって練習してきました。

1回戦は同じ学校の南勢校舎で、練習試合を何度もした相手でしたが、今までは勢いが違いました。試合は競り合いとなりましたが、心の中には厳しい練習を乗り越えた自信のようなものがあり、逆転された時でもなぜか負ける気はしませんでした。最後の数分で再逆転し、一気に突き離して初勝利を手にすることができました。

2回戦の宇治山田高校戦で敗れましたが、高校生活最初で最後の大会で全力を尽くすことができ、とても良い思い出となりました。3年生からの遅いスタートで、初めてのキャプテンとして大変なこともありましたが、あきらめずにやってきてよかったです。何よりも一生懸命頑張ることの大切さを学ぶことができ、成長できた密度の濃い6か月だったと思います。
(バスケットボール部3年 濱口 陽平)

陸上競技部県新人大会結果

9月19日から20日にかけて、四日市中央緑地公園陸上競技場で、陸上県高校新人大会が行われ、陸上競技部は好成績を収めました。

女子やり投げ	〈優勝〉	奥村つかさ (1年)	43m29
女子円盤投げ	〈4位〉	奥村つかさ (1年)	34m13
女子砲丸投げ	〈4位〉	西村 理絵 (2年)	10m44
男子三段跳び	〈2位〉	山口 泰宏 (1年)	13m60
男子円盤投げ	〈2位〉	田中 良典 (2年)	41m01
男子砲丸投げ	〈3位〉	田中 良典 (2年)	13m39
男子走幅跳び	〈6位〉	山口 泰宏 (1年)	6m33

なお、10月24日から26日、愛知県瑞穂陸上競技場で行われる東海新人大会に4選手が7種目の競技に出場します。また、奥村さんは、山梨県で行われる全国大会(日本ユース大会)のやり投げにも出場します。

図書館開放予定日

度会校舎図書館は、次の日程で地域の皆さんに開放しています。

11月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	○	×	○	○	○	×
8	9	10	11	12	13	14
×	○	○	○	○	○	×
15	16	17	18	19	20	21
×	○	○	×	○	○	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	○	○	○	○	×
29	30					
×	○					

○:午前9時~午後5時開放 ×:地域開放日ではありません
・開放日は会議などで変更することがありますので、ご了承ください。
・Booklogで新着本情報をお知らせしています。
<http://booklog.jp/users/watarailib>

人権

考えるについて

ノーマライゼーションの実現

『ノーマライゼーション』とは、障がいのある一人ひとりの人権を認め、取り巻く環境を変えることによって、生活状況を障がいのない人の生活と可能な限り同じにして、『共に生きる社会』を実現しようとするものです。

『ノーマライゼーション』を実現する一つ的手段として、バリアフリーがあります。バリアフリーを通して、障がいを持つ方の言葉を紹介します。皆さんも『ノーマライゼーションの実現』に向かって、いちど考えてみましょう。

「バリアフリーとは、一般的には、障がい者が利用する上での障壁が取り除かれた状態として広く使われています。例えば、「階段に代わる傾斜路」の勾配は8分の1（約7度）以下と規定されています。この勾配は、健常者には比較的緩やかなスロープとして認識されていますが、車いす利用者は、スロープの距離が長い場合、車いすの両輪を回し続ける腕力と持久力が要求され、さらに階段の踊り場のように、途中で停止、もしくは休憩する場所がないと、特に登りのときには後戻りして危険ですが、そういうことはあまり認識されていません。また、ほんの数センチの段差も障がい者にとっては、数十センチに感じられます。そのほか、障がい者駐車場などでも、モラルのない健常者に利用され、実際に利用すべき人が利用できないときもあります。本来どういう人が利用するためにあるのかを考えて欲しいと思います。まだまだ社会全体に、心のバリアフリーが行き届いていないように思います。」



リレー連載

No.24



度会町人権・同和教育推進協議会
担当／役場福祉保健課

『福祉ふれあいまつり』で 福祉やボランティアに親しむ

去る10月18日、町地域福祉センターを会場に、町民の皆さんに福祉やボランティア活動に親しみを持ってもらおうと『福祉ふれあいまつり』が開催され、たくさんの人でにぎわいました。

福祉体験発表会では、町内小中学校の代表者など5人の皆さんが、車いす体験や介助など福祉体験を通じて感じ、考えたことなどの作文を発表し、会場内の皆さんに福祉の輪を広げるとともに、共感を得ていました。

場内では、ルーレットなどのゲームや車いす・手話・点字・高齢者疑似体験を通じたスタンプラリー、各種バザーなどが行われました。

また、ステージでは、度会中学校吹奏楽部の演奏や、中之郷保育所園児による演芸、仮装ストリートダンス大会など、さまざまな催しが繰り広げられました。



お楽しみ抽選会の後のフィナーレを飾る餅まき大会では、餅やお菓子などがまかれ、歓声に包まれました。

福祉体験発表者

- ・ 御村紗也さん(度会小6年)
- ・ 西村桃香さん(度会小6年)
- ・ 田辺真由さん(度会小6年)
- ・ 溝田友里菜さん(度会中3年)
- ・ 中村奨兵さん(南伊勢高2年)



西野たけし指導

三番叟の木偶の足踏み萩の風

大久保 浦田 フユ

翫雲佛に告げて旅に出る

茶屋広 河村 鈴

もみじ晴れ水郷めぐる櫂の音

大野木 串田 冬扇

満月や川面揺るがす太鼓

麻加江 辻本久美子

月今宵いつきの宮の糸車

葛原 中井 和子

柚の実の葉よりも青く雨に濡れ

麻加江 中嶋 久子

秋ともし茶房に流るセレナーデ

大野木 西村 永

葉月潮ぬつと顔出す隠れ岩

棚橋 藤井 紫光

町内各保育所園児 サツマイモ掘り体験

秋晴れのもと、町内各保育所の園児たちがそれぞれサツマイモ掘り体験を楽しみました。

棚橋保育所には山本充祇さん（棚橋）が、中之郷保育所には長谷川元之さん（市場）が、園児のために畑を提供してくれました。また、長原保育所の園児たちは、農業振興事業の一環として、長原区の皆さんとサ

ツマイモ掘り体験を通して交流を図りました。

園児たちは、おいしいサツマイモがどうやってできるかなどのお話を聞いた後、一斉に掘り始めると、大きなサツマイモを高々と持ち上げ、「見て、こんなに大きいのがとれたよ」「こっちも見て」と歓声を上げ、サツマイモをどんどん掘り当てていきました。

採れたサツマイモは、園児たちにまんべんなく配られ、園児たちは喜んで家に持って帰りました。



やっと採れた大きいサツマイモ（長原保育所）



口いっぱいほおぼる園児たち（中之郷保育所）



どんどん掘り当てる園児たち（棚橋保育所）

ひとときの美しさ 花咲く 月下美人

徳力寛さん（田口）が育てた月下美人が、去る9月23日の満月の夜、大きな花を咲かせました。話を聞きつけた田口区約20人の皆さんが、徳力さん宅へ観賞に訪れ、その美しさに魅せられ、中にはカメラのシャッターを切る人もいました。

数年前から育て始めた徳力さんは、最近では、毎年

花を咲かせることに成功しており、田口区の皆さんの中ではその観賞は恒例の出来事。

今年は午後6時半から開花が始まり、約6時間、その大きな花はひとときの美しさを放っていました。



中之郷保育所 親子でパン作り



去る10月16日、中之郷保育所で、『親子の集い』が開催され、民生委員さんの協力のもと、パン作りをしました。

園児たちは、保護者や民生委員さんに教わりながら、アンパンマンや車など、自分の好きなかたちにパン生地を形取りました。焼き上がったパンを見て、上手にできたと誇らしげな園児や意外な形になって笑う園児などさまざま。食べてみると皆一様に「おいしい」と満足そうに食べていました。

この日は他に、スタンプラリーや宝探しなどの催しも行い、園児たちは、いつもと違う保育所での遊びを楽しんでいました。

男女混成バレー大会で熱戦

去る10月25日、小川郷体育館を会場に、町バレーボール連盟主催の第8回度会町家庭婦人バレーボール男女混成大会が開催されました。

参加した4チームは、試合を楽しみながら、良い汗をかき、熱戦を繰り広げました。

大会結果

優勝	ラブリー	準優勝	ソフトリー
3位	リバース	4位	マミーズ



まちも心も美しく 町内一斉クリーン活動を実施



去る10月25日、町内各地で、世代間の交流や町民の連携によるごみゼロ社会の実現を目指して『度会町内一斉クリーン活動』が行われ、約1,400人の皆さんが参加しました。

参加した皆さんは、道路や河川のごみ拾い、除草、集落表示板やカーブミラーなどの清掃を行い、さわやかな汗を流しました。子どもたちも、地域の皆さんとともに活動することで、社会のルールを守ることの大切さを学ぶよい機会となりました。

ありがとうございました。

子どもから高齢者まで 流しそうめんで世代間交流

去る9月26日、町社会福祉協議会が、旧中川小学校で地域の子どもたちから高齢者まで、世代を超えた

交流を図ろうと「世代間交流会」を開催し、中川地区の子どもや保護者、老人など約100人がそうめんやぜんざいを食べて楽しみました。

老人会の皆さんが竹を半分に割って節を取り、流しそうめ



んの準備をすれば、子どもたちは小麦粉をこねて、ぜんざいの団子作りのお手伝い。

そうめんは100食分用意され、といに流し込まれると子どもたちが駆け込み、歓声とともにすくい上げていました。

大地の鼓動

第3回神々の國太鼓祭『天鼓』開催

去る10月4日、宮リバー度会パークを会場に、伊勢の國鏡太鼓が主催する第3回神々の國太鼓祭『天鼓』が開催され、大勢の来場者でにぎわいました。

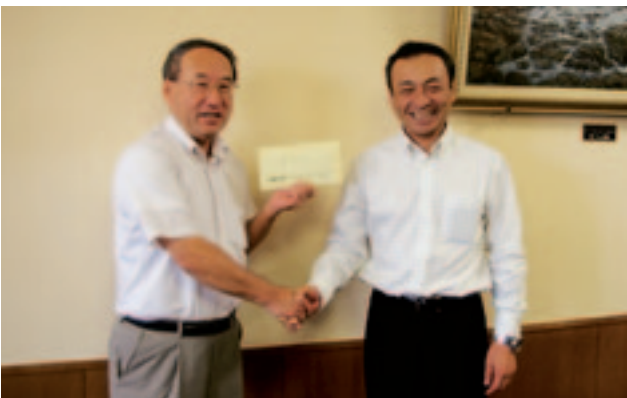
晴天に恵まれたこの日のイベントには、県内外からプロチームを含む15団体の太鼓チームが出演し、迫力あるパフォーマンスを披露しました。



詰めかけた来場者は、大地にこだまし、心に響くその和太鼓の音色に魅了されていました。

また、御輿や木遣り、よさこいソーランに取り組む団体も参加し、会場を大いに盛り上げていました。

パワーゾーン（株） 売り上げの一部を寄付



去る9月25日、アウトドアスポーツツアーのガイド業などを営むパワーゾーン（株）（愛知県）が役場町長室を訪れ、度会町で行ったツアーの売上金の一部を町へ還元しようと119,000円を寄付されました。

町長は「町行政の推進に利用させていただきたい」と感謝の言葉を述べました。

なお、パワーゾーン（株）は、安心して楽しむ、穏やかな流れと風光明媚な景観が魅力の川遊びとして、宮川を通じ、ラフティングツアーを度会町で毎年5月から9月にかけて企画・運営されています。

山口一昭さん（麻加江） 長寿祝い 記念品贈呈

来年1月2日で100歳を迎える山口一昭さん（麻加江）に、長寿を祝い、内閣総理大臣から記念品が贈られ、去る10月16日、その記念品とほう状が町長より伝達されました。

お祝いを受けた山口さんは、とてもお元気で、食事の制限もなく、家族と同じものをしっかり食べ、長生きの秘訣について、「毎朝、自宅近くの高台にあるお宮参りを欠かさず行っています」と語ってくれました。

おめでとうございます。



『こころの健康相談』を開催

- ▶ **開催日時** 11月26日(木)
午後1時～3時
 - ▶ **開催場所**
県伊勢庁舎ヘルスサポート室
 - ▶ **内 容** 専門医・保健師による
個人面接相談(要予約)
- ※相談は無料で、秘密は堅く守られます。
- ▶ **予約・問合せ先**
伊勢保健福祉事務所地域保健課
(☎27-5148)

特設人権相談所を開設

法務省および全国人権擁護委員連合会では、12月4日から10日を「第61回人権週間」と定め、関係機関は各種行事を実施します。

町でも、人権週間にちなんで、次のとおり『特設人権相談所』を開設します。日常生活において、人権に関する困りごとでお悩みの方は、お気軽にご利用ください。

また、併せて行政相談も受け付けます。

相談は無料で秘密は堅く守られます。

- ▶ **開設日時** 12月1日(火)
午前10時～午後3時
- ▶ **開設場所** 町中央公民館2階中会議室
- ▶ **相談対応者**
 - ・人権擁護委員 田村重幸さん
西田久典さん
清水幸子さん
 - ・行政相談委員 小岸米子さん
- ▶ **問合せ先** 役場税務住民課
(☎62-2411)

お母さんのためのリフレッシュ講座『アレンジメントフラワー』を開催

- ▶ **開催日時** 11月20日(金)
午前10時～11時30分ごろ
- ▶ **受付時間** 午前9時45分～
- ▶ **開催場所** 町子育て支援センター
- ▶ **対 象** 子育て中の人
- ▶ **定 員** 15人(先着順)
- ▶ **参加費** 500円
- ▶ **持ち物** あれば花切りバサミ
- ▶ **申込期間**
11月9日(月)～13日(金)
- ▶ **託 児** あり
- ▶ **申込・問合せ先**
町子育て支援センター
(☎63-0070)

お母さんのためのリフレッシュ講座『クリスマス用お菓子作り』を開催

- ▶ **開催日時** 12月14日(月)
午前9時30分～正午ごろ
- ▶ **受付時間** 午前9時15分～
- ▶ **開催場所** 町保健センター
- ▶ **対 象** 子育て中の人
- ▶ **定 員** 15人
- ▶ **参加費** 200円
- ▶ **申込期間**
11月16日(月)～20日(金)
- ▶ **託 児** あり
- ▶ **申込・問合せ先**
町子育て支援センター
(☎63-0070)

子育て支援教室『手作りおもちゃを作ろう』を開催

- ▶ **開催日時** 11月27日(金)
午前10時30分～11時30分
- ▶ **開催場所** 町子育て支援センター
- ▶ **対 象** 保育所に行っていない
1歳以上のお子さんとその保護者
- ▶ **内 容** ビニールたこ作り
- ▶ **定 員** 20組(先着順)
- ▶ **参加費** 100円
- ▶ **持ち物** あれば油性マジック
- ▶ **申込期間**
11月9日(月)～13日(金)
- ▶ **申込・問合せ先**
町子育て支援センター
(☎63-0070)

料理教室を開催

度会町食生活改善推進協議会では、次のとおり料理教室を開催します。ぜひ、ご参加ください。

ヘルスサポーター養成講座

健康づくり実践講座「調理実習と軽い運動」

- ▶ **開催日時** 11月26日(木)
午前9時30分～午後2時
- ▶ **開催場所** 町保健センター
- ▶ **申込期限** 11月17日(火)
- ▶ **参加費** 300円
- ▶ **申込・問合せ先** 役場福祉保健課
(☎62-1112)

お知らせ

Watarai Information

観光ボランティアガイド 『わたらい語り部』を募集

町では、一之瀬川流域の過疎化対策の一つとして、名所や史跡など流域の魅力を皆さんとともに再認識し、守る会の発足支援や日帰り観光コースの設定など創意と工夫で活性化に向けた取り組みを促進しています。

地域の紹介役として、皆さんがお持ちの知識や経験を生かし、郷土を訪れる方々に「温かいおもてなしの心」で迎え、案内する観光ボランティアガイド『わたらい語り部（仮称）』を次のとおり募集します。

健康で地域の観光名所や史跡などに関心があり、郷土のためにその魅力を発信する意欲のある町内の方であれば、どなたでも応募できます。

少しでも興味のある方や不明な点がある方は、お気軽にお問い合わせください。

▶**応募期限** 11月30日（月）

▶**応募方法** 応募用紙に必要事項を記入し提出してください。

※応募用紙は、役場政策調整室窓口で取得、または町ホームページからダウンロードすることができます。

▶**申込・問合せ先** 役場政策調整室
（☎62-2423）

放送大学学生を募集

放送大学は、自宅で学べる通信制の大学です。

放送大学では、平成22年度第1学期（4月入学）の入学生を募集します。

▶**応募期間**

平成21年11月15日（日）～
平成22年2月28日（日）

▶**問合せ先**

放送大学三重学習センター
（☎059-2331-1170）

「^{うま}美し国おこし・三重」座談会 参加者を募集

「美し国おこし・三重」は、平成21年度から26年度までの6年間にわたり、地域の特色を生かして取り組む地域づくり活動に対して、さまざまな支援を行うとともに、地域内外の交流・連携を拡大し、自立・持続可能な地域づくりにつなげていくとする三重県の取り組みで、その一環として県内各地で「座談会」を開催しています。

地域をより良くしていくという思いを持つ住民の皆さんが集まって、地域の課題や将来について語り合い、専門家と一緒に解決策や方向性を考える場が「座談会」です。

「座談会を開催したい」というグループの皆さんや「座談会に参加したい」という方、活動仲間をお探しの方など、まずはお気軽にお問い合わせください。随時、座談会の日程調整や開催場所の調整など開催・参加のサポートをします。

▶**問合せ先**

役場政策調整室
（☎62-2423）

『守ろうよ 未来を見つめる 小さなひとみ』 11月は児童虐待防止推進月間

11月は「児童虐待防止推進月間」です。

虐待を受けたと思われる子供を見かけた方や、出産や子育てに悩んでいる方は、児童相談所または役場福祉保健課に相談してください。

▶**問合せ先**

三重県児童相談センター南勢志摩
児童相談所（☎27-5143）
または役場福祉保健課（☎62-
2413）

全国一斉『女性の人権 ホットライン』強化週間

夫やパートナーからの暴力や、職場でのセクシュアルハラスメント、ストーカー行為などでお困りの方のご相談をお受けします。

▶**専用電話** ☎0570-070-810

▶**実施期間**

11月15日（日）～21日（土）
午前8時30分～午後7時
※ただし、土・日曜日は午前10時から午後5時まで

※相談は無料で、秘密は堅く守られます。

▶**問合せ先**

津地方法務局人権擁護課
（☎059-228-4193）

平成21年分年末調整説明会・ 所得税の青色決算等説明会を開催

年末調整等説明会

▶**開催日時** 11月17日（火）
午後2時～

▶**開催場所**

伊勢市生涯学習センター
（いせトピア）

▶**対象地域**

伊勢市（二見町・小俣町・御園町）・
鳥羽市・玉城町・南伊勢町・大紀町・
度会町

▶**問合せ先** 伊勢税務署法人課税
第1部門源泉所得税担当
（☎28-6422）

所得税の青色決算等説明会

▶**開催日時** 11月18日（水）
午後2時～

▶**開催場所**

伊勢市生涯学習センター
（いせトピア）

▶**対象地域**

伊勢市・鳥羽市・玉城町・南伊勢
町・大紀町・度会町

▶**問合せ先** 伊勢税務署個人課税
第1部門個人指導担当
（☎28-3194）

共同受信施設の地デジ化 助成制度のお知らせ

共同住宅（アパート・マンション）内の共同受信施設や、建物などによる受信障害対策として設置された共同受信施設の地上デジタル化に対して助成制度がスタートしました。

施設の地上デジタル化対応において、経費負担が過重となる場合（世帯当たり3万5千円以上）、国の助成が受けられます。

助成を受けるには、改修工事の実施前に申請を行う必要があります。

詳しくは、デジサポのホームページ（<http://digisuppo.jp>）をご覧ください。

▶申請期限

・共同住宅の共同受信施設に対する助成金

平成22年1月15日（金）

・受信障害施設地デジ化の助成金
平成21年12月28日（月）

▶問合せ先 デジサポ助成金相談窓口
（☎0570-093-724）

※平日午前9時～午後6時

▶申込先 総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）
（☎059-227-7271）

交通事故多発！ 交通安全に注意しましょう

伊勢署管内において、昨年の同時期に比べて、約200件余り交通事故件数が増加しています。

車を運転するときは、必ずシートベルトを着用し、速度を遵守するなど交通ルールを守り、ゆとりのある運転を心がけてください。

車を運転する方、自転車に乗られる方、歩行者、皆さん一人ひとりの心がけにより悲惨な交通事故を防ぐことができます。

皆さんの心がけで、交通事故のない町にしましょう。

▶問合せ先 伊勢警察署交通課（☎20-0110）または役場総務課（☎62-1111）

11月25日～12月1日 犯罪被害者週間

犯罪被害者は、犯罪による直接的な被害（けがをする、お金を盗まれる）だけでなく、被害後もさまざまな問題に苦しめられます。

周りの方々は被害者の心理を理解し、被害者を責めたり、無理に励ましたりすることは避けてください。

誰もが犯罪被害者となる可能性があります。皆さんもこの機会に被害者の方が置かれている状況に心を傾け、被害者の方々のために何ができるか考えてみましょう。

被害者相談窓口

▶相談先 （社）みえ犯罪被害者総合支援センター

▶相談電話

☎059-221-7830

▶相談受付時間

毎週月～金曜日（祝日を除く）
午前10時～午後4時

▶問合せ先

伊勢警察署警務課被害者支援係
（☎20-0110）

三重県退職教職員互助会 伊勢・度会地区 『生き生き楽しい作品展』を開催

▶開催日時 11月14日（土）
午前10時～午後4時、15日（日）午前10時～午後3時

▶開催場所 いせ市民活動センター（旧伊勢シティープラザ）

▶内 容

伊勢度会地区現教職員・退職会員とその家族の作品、伊勢市・度会郡小中学校児童生徒の書・画作品などを展示

▶問合せ先

三重県退職教職員互助会伊勢・度会地区作品係
上永（☎28-8387）

三重県最低賃金は時間額702円

三重県最低賃金が、10月1日から1円引き上げられ、「時間額702円」に改正されました。この最低賃金は、年齢・雇用形態（パート・アルバイトなど）を問わず、三重県内で働くすべての労働者に適用されます。

ただし、特定の産業（8業種）に該当する事業場で働く労働者には、特定（産業別）最低賃金が定められています。

詳しくは、お問い合わせください。

▶問合せ先 三重労働局賃金室
（☎059-226-2108）

全国一斉『労働時間相談 ダイヤル』を設置

三重労働局では、11月に労働時間適正化キャンペーンを実施していますが、その一環として、全国一斉の『労働時間相談ダイヤル』（無料）を設置します。相談は匿名でも構いません。労働時間や賃金などの労働条件や職場に関することについて、この機会にご相談ください。

▶日 時 11月21日（土）
午前9時～午後5時

▶電話番号 0120-794-713（フリーダイヤル）

▶問合せ先 三重労働局監督課
（☎059-226-2106）

労働保険の加入手続きは お済みですか？

労働保険は政府が管理・運営している強制的な保険であり、農林水産業の一部を除き、労働者を1人でも雇用している場合、事業主または労働者の意思の有無に関わりなく、必ず加入することが労働保険徴収法で定められています。

労働保険の加入手続きをとられていない事業主の方は、速やかに手続きをとられるようお願いします。

▶問合せ先

三重労働局総務部労働保険徴収室
（☎059-226-2100）

子育て支援情報

●問い合わせは、町地域交流センター
(☎63-0070) または役場福祉保健課
(☎62-1112) まで

遊・友・YOUくらぶ

12月 9日 (水)
ひよこグループ
12月10日 (木)
うさぎグループ

時間：午前10時～正午ごろ
場所：町子育て支援センター
※初回のみ要申込み

わたっこ広場開放

月曜日～金曜日

時間：午前9時30分～
午後2時30分
場所：町子育て支援センター
対象：保育所に行っていないお子さん
※多目的ホールが事業で使用できないときは、創作活動室をご利用下さい。

地区巡回広場わたぼうし

12月 3日 (木)
町地域福祉センター之瀬支所
(旧南中村保育所)
12月17日 (木)
麻加江生活改善センター

時間：午前10時～
11時30分ごろ
内容：保育士による手遊び、自由遊びなど
対象：保育所に行っていないお子さん

子育て支援センターでは
メールでの相談も受け付けています

メールアドレス
watako@amigo2.ne.jp

保健情報

●問い合わせは、役場福祉保健課
(☎62-1112) まで

1歳6か月児健診

12月16日 (水)
受付：午後0時30分～
0時45分
場所：町保健センター
対象：平成20年4月・5月生まれ
のお子さん

乳児健診

12月16日 (水)
受付：午後1時00分～
1時20分
場所：町保健センター
対象：
●2か月児健診
平成21年10月生まれのお子さん
●7か月児健診
平成21年5月生まれのお子さん

育児相談(保健相談および栄養相談)

12月4日 (金)
受付：午前10時～11時
場所：町地域交流センター
対象：0歳から6歳までのお子さん

11月の町税

国民健康保険税 第7期

※口座振替日は、11月27日
(金)です。預貯金残高の確認
をお願いします。

支 障害者相談 援センター

『ブレス』巡回相談

- ▶開催日時
11月13日(金)・27日(金)
午前10時～午後4時
- ▶開催場所
役場1階第1会議室
- ▶申込・問合せ
役場福祉保健課(☎62-
2413)または伊勢・度会地
区障害者相談支援センター『ブ
レス』(☎20-6525)

産バザールわたらい 直市

地元産の新鮮な野菜やお茶、手作りお菓子などを販売して
います。多数のご来店をお待ちしています。



- ▶開催日時 毎週日曜日
午前9時～11時
- ▶開催場所
宮リバー度会パーク
バザールわたらい
- ▶問合せ
役場産業建設課
(☎62-2416)



おめでとう

9月中旬に届出のあった方(敬称略)

子の名前	保護者名	字名
藤田 彰人 ^{アキト}	一久	上久具
稲澤 優菜 ^{ユナ}	純	平生
奥野 結衣 ^{ユイ}	智仁	棚橋
下村 拓幹 ^{タクミ}	晋	棚橋



おくやみ

9月中旬に届出のあった方(敬称略)

名前	年齢	字名
山根 好夫	57	田口
坂本 義一	76	麻加江
山本まき枝	83	大久保
清水 辰生	83	棚橋
石井 正孝	65	棚橋
福井 しな	88	大野木
中谷八恵子	75	大野木

暮らしガイド

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■度会町役場 ●総務課 62-1111 ●政策調整室 62-2423 ●税務住民課 ・住民係 62-2411 ・税務係 62-2414 ●福祉保健課 ・福祉係 62-2413 ・支援係 (地域包括支援センター) 62-1118 ・保健係 (保健センター) 62-1112 ●生活環境課 62-2415 ●産業建設課 ・農林係 62-2416 ・振興係 62-2416 ・建設係 62-2420 ●出納室 62-2410 | <ul style="list-style-type: none"> ●議会事務局 62-1113 ●教育委員会事務局 62-2422 ●夜間・休日宿日直室 62-1114 ■保育所 ●棚橋保育所 62-0074 ●長原保育所 64-0022 ●中之郷保育所 62-0070 ■地域交流センター 63-0070 ■社会福祉協議会 62-1117 ■わたらい緑清苑 62-2200 ■美化センター 62-0249 ■中央公民館 62-1588 ■度会小学校 62-0004 ■度会中学校 62-0194 ■バザールわたらい 63-0333 |
|--|---|

■度会町役場 開庁時間 am8:30~pm5:15

度会町食生活改善推進協議会

今 シリーズ 夜の夕食

高血圧予防料理 きのこと豆腐の和風ミニグラタン



食塩の摂取と高血圧との関係性は周知の事実です。食塩の摂取が多い人ほど血圧が高くなることは国際的な研究においても明らかになっています。

『減塩』で高血圧の予防をしましょう。

作り方

- ①生シイタケは石づきを取り、厚めに切る。
- ②本しめじは根元を切り、ほぐす。
- ③エリンギは長さを半分程度に切り、厚めにスライスする。
- ④木綿豆腐はペーパータオルに包み、電子レンジで約1分加熱し、水気を切り、食べやすい大きさに切る。
- ⑤フライパンにバターを熱し、薄力粉を弱火で焦がさないように炒め、水を少しずつ加え、スキムミルク、刻んだコンソメを加えてなめらかにし、西京みそを加えてよく混ぜる。
- ⑥耐熱皿に④を載せ、コンショウを振り、⑤に①、②、③を混ぜ合わせ、上からかける。パン粉を散らし、180℃のオーブンで7、8分焼き色がつくまで焼く。

材料(4人分)

生シイタケ	4枚	ホワイトソース	バター	10g
本しめじ	2分の1パック		薄力粉	大さじ1
エリンギ	大1本		水	240cc
木綿豆腐	200g		スキムミルク	大さじ4
こしょう	少々		コンソメ	2分の1個
パン粉	小さじ1		西京みそ	大さじ1と2分の1

かがや a Person of, Shining, Watarai びと
輝け! わたらい人 No. 89



伊藤 大揮 さん
(栗原) 18歳

宇治山田商業高等学校商業科3年生の伊藤大揮さん。伊藤さんは、消防士の採用試験を受験し、今まさに結果待ち。夢の消防士に向かってドキドキしながら吉報を待っています。

★進路について
消防士を目指して今回採用試験に挑みましたが、競争率が激しく、厳しい現実を痛感しました。結果がどうあれ、今後も挑戦していきたいと思っています。

★学校生活について
今までは日々野球に打ち込み、「甲子園」という夢に向かって努力してきましたが、残念ながら叶えることができませんでした。今は「消防士」という次の目標に向かって頑張っているところです。残り少ない高校生活も満喫したいと思っています。

★子どものころは
メダルやトロフィーに憧れ、スポーツに明け暮れていました。

★将来の夢は
野球で培った体力や忍耐力を生かし、消防士になります。また、これまでのスポーツ活動を通じてお世話になった地域の皆さんに恩返しするためにも、消防士になって町を支えたいです。

★度会町の好きなところは
「アマゴの放流」や「宮川流域子どもサミット」など豊かな自然を生かしたイベントが開かれたり、伝統的な文化や祭りなどが世代を超えて受け継がれていたりするところです。

★度会町に望むこと
町内に働く場が少ないので、町から人が出ていけないためにも働く場を増やして欲しいです。また、若者がたくさん集まる町にして欲しいです。

編集後記

「月下美人の花が咲いたので掲載して欲しい」と連絡をいただき取材した今月の記事。花を育てた方がいて、鑑賞・撮影したい方々がいて、知らせてくれた方がいて……。地域の絆やコミュニティの確立を感じました。

地方分権が叫ばれる昨今、地域の自主性、個性が重要となり、住民と行政の協働でまちづくりが進められなければなりません。町は、さまざまな地域活動や地域づくりを支援します。「広報わたらい」もより多くの情報を提供し、皆さんが参加でき、より住民参加志向の強いものにしていきたいと考えています。紹介したい地域の活動や取り組み、出来事などがあればご一報ください。

今月の表紙



本物の舞台芸術 関西フィル演奏に触れる

去る10月2日、度会小学校で、関西フィルハーモニー管弦楽団の体験型の公演が行われ、全校児童527人がプロの生演奏に触れました。

子どもたちに本物の舞台芸術に触れてもらおうという文化庁事業の一環で行われたこの公演では、奏者64人が行進曲「威風堂々」などクラシックの名曲を披露してくれました。

演奏の間には、指揮者体験の時間が設けられ、4年生の下村瑠那さん(棚橋)と6年生の西村伊織さん(和井野)が挑戦し、タクトをリズムよく振って見事にオーケストラを指揮しました。

公演の最後には、オーケストラの演奏のもと、全校児童で校歌を斉唱するなど、貴重な時間を過ごしました。

町のうごき

平成21年9月30日現在
()内は前月比

人口	男	4,373(-8)	出生	5
	女	4,680(-10)	死亡	9
	計	9,053(-18)	転入	12
	世帯数	2,812(-3)	転出	26



- 発行/度会町役場
- 編集/総務課
三重県度会郡度会町棚橋1215-1
TEL 0596-62-1111 FAX 0596-62-1647
E-mail:somu@town.watarai.mie.jp
- 印刷/文化印刷(有)